

第2回かぜくも教室を 開催しました！



8月31日（月）に本校の教育支援アドバイザー鈴木貞安氏を講師に迎え、第2回かぜくも教室が行われました。第1回のかぜくも教室はコロナウイルスの影響により中止となりましたが、第1回に予定していた講義の内容を盛り込みながら、「親と子のよりよいコミュニケーションに向けて」～子どもの協力と感覚を生かして～をテーマに行われました。講義の内容は、大きく3つありました。

1つ目は、子どもの特性についてです。全ての子どもは攻撃性（活動のエネルギー）を持っているが、目一杯集中して活動する機会をつくること、子どもの良さを認めてあげることで攻撃性が昇華されるとのお話がありました。

2つ目は、子どもの協力を引き出す方法です。話をする時は子どもと視線を合わせてから声をかけること、子どもの注意を引くために分かりやすい言葉で端的に指示を出すこと、タイミングを逃さず良いところ褒めることなど、具体例を挙げながら分かりやすくお話して頂きました。

3つ目は、感覚を生かして安心感を持たせることです。できないことに注目するのではなく、できない背景に目を向け、感覚を生かしたり、うまく鍛えたり経験の中から学ぶことで、子どもたちは発達していくとの話がありました。

とても分かりやすくお話していただき、今後
の子どもたちとのかかわりを考える有意義な時間
となりました。

感覚統合のお話を詳しく学べてとても良かったです。独特の遊び方をするのはなぜなのか、理解して見守ってあげようと思いました。

もう少し成長してからのコミュニケーションの方法なども聞けたので参考になりました。

子どもの対応について、とても勉強になりました。



子どものかかわり方について、対処法のお話がありとても分かりやすかったです。話を聞いていて、子どもの行動の中に気を付ける点が見付かって良かったです。

